

2016

～さくらの季節に～

樺細工で生まれ変わった

奇跡のピアノ コンサート

vol.6

角館 平福記念美術館

仙北市角館町表町上丁4-4 TEL 0187(54)3888

角館駅より徒歩25分(武家屋敷通り)

美術館入館料 大人(高校生以上) 300円

コンサートのみの方は無料

ピアノのメンテナンスのため募金箱を設置しております。
ご理解とご協力をお願い致します。

5/1 (日)
塩田 睦子 (朗読)
堀谷 睦美・斎藤 洋
(ピアノ連弾)

・マ・メール・ロワ
(ラヴェル)

5/3 (火)
秋田県立
大曲高等学校合唱部

- ・花 (武島羽衣/詞・瀧廉太郎/曲)
- ・365日の紙飛行機
(秋元康・詞
角野寿和・青葉紘季/曲)
- ・恋のバカンス
(岩谷時子/詞 宮川 泰/曲)
- ・今日、明日、また明日
(本田武久/詞・
アベタカヒロ/曲)
ほか

5/4 (水)
伊藤 伸 (ピアノ)

- ・前奏曲 Op.28-15「雨だれ」
(ショパン)
- ・舟歌 Op.60 (ショパン)
ほか

5/5 (木)
仲野谷 友希 (ピアノ)

- ・ノクターン「遺作」
(ショパン)
- ・アンダンテスピアナートと
華麗なる大ポロネーズ
(ショパン)
- ・蕾 (コブクロ)
- ・風見鶏 (コブクロ)

4/23 (土)

浅野未希 (ヴァイオリン)
斎藤 洋 (ピアノ)

- ・ロンドンデリーの歌
(アイルランド民謡)
- ・アヴェ・マリア
(シューベルト)
- ・リベルタンゴ
(ピアソラ) ほか

4/24 (日)

佐藤 和穂 (ピアノ)

- ・亡き王女のための
パヴァーヌ (ラヴェル)
- ・主よ人の望みの喜びよ
(バッハ)
- ・ユーモレスク (ドボルジャーク)
ほか

樺細工現代の名工

齋藤吉郎氏が描いた

春を呼ぶ くるるよどの想い

こちらにも是非ご覧ください。

※各日も 11:00~11:30, 13:30~14:00 の2回公演です。

曲目変更の場合はご了承下さい

主催 Otoを楽しむ会～古きピアノに樺のアートプロジェクト～

お問合せ 090(2989)2918 安藤 満里 090(5233)6127 倉持千恵子

齋藤 洋 さいとう よう

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学院音楽研究科ピアノ専攻修了。

1985年、東京でリサイタル開催。1986年に秋田大学着任後、秋田市で12回のリサイタルを開催の他、多くのコンサートに出演。2005～11年に開催された8回のアトリオン・ピアノフェスティバルでは音楽プロデューサーを務めた。秋田県芸術選奨、木内音楽賞受賞。高橋英雄、西勇夫、北川暁子、G.ベルグ、M.M.シュタインの各氏に師事。今年3月、30年勤めた秋田大学を退職。奇跡のピアノコンサートには毎年出演している。

浅野 未希 あさのみき(ヴァイオリン)

東京芸術大学音楽学部附科卒業、国費留学生としてハンガリー国立リスト音楽院修了。

第37回全四国音楽コンクール弦楽器部門最優秀賞。ルーマニア国立放送室内管弦楽団、ロシア国立Boyanオーケストラと協奏曲を共演。ドイツ・ゲヴァントハウス弦楽四重奏団奏者やベルリンコンツェルトハウス管弦楽団奏者との室内楽、国内外各地でソロコンサートを開催。和楽器、落語、日本舞踊とのコラボレーションを行い自身も三味線を演奏。吉本新喜劇に出演。日本弦楽指導者協会会員、コンクールの審査員やレッスンをを行う。

佐藤 和穂 さとう かずほ

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。シドニー・コンセルバトリウムオブミュージック・ピアノスタディーズコース修了。

第40回全東北ピアノコンクール優勝。併せて文部大臣奨励賞受賞。第4回ショパン国際コンクールインアジア一般部門最高位銀賞受賞。クラコフ室内管弦楽団とショパンのピアノ協奏曲を共演。これまでに「オールショパンプログラム」「オールリストプログラム」等、アトリオン音楽ホールにてソロリサイタルを6回行う。現在、県内外に於いてコンサートに出演。ラルミエール佐藤ピアノ教室主宰。これまでに岩井正子、藤田節子、エプロフ、山崎圭子、永岡信幸の各氏に師事。

塩田 睦子 しおた むつこ (朗読)

東京で、朗読と演劇のワークショップに参加し、現在東京や秋田で朗読活動をする。昨年、「言葉の一番ダシ〜詩と弦のしらべ」を秋田市・横手市の二会場で企画開催。仙北市主催「クニマスの色はいのち色」ミュージカルガラコンサートに語り部として参加。今年秋田と横手のマンドリンクラブ定期演奏会で音楽物語りに出演など。元・ABSアナウンサー、ディレクター。NPO日本朗読文化協会会員。秋田テルサ、横手あさくら館で朗読舞台を勤める。秋田市在住。

堀谷 睦美 ほりや むつみ

聖霊女子短期大学音楽科卒業。

定期演奏会にてミヨーの「スカラムーシュ」(2台のピアノのための組曲)を演奏。卒業演奏会出演。第28回秋田市民音楽コンクール高校の部第3位。同年第10回全県ピアノコンクール高校の部第2位。第5回アトリオン・ピアノフェスティバル、国民文化祭あきた2014“6 PIANOS”アンサンブルの祭典に出演。秋大☆憩いのコンサートには3度目の出演となる。中嶋隼、高橋久子、J.ダムガード、E.スラム、前田英樹の各氏に師事。秋田市を中心に伴奏等の演奏活動を行う。現在Happy Musicピアノ教室主宰。

秋田県立大曲高等学校 合唱部

「可能な限りどこへでも」をモットーに、地域の芸術文化の発展に貢献できればと思いますながら活動しています。

演奏依頼をたくさんいただき、高齢者施設、病院、敬老会などでの演奏が増えてきました。季節の歌、昔懐かしの歌などレパートリーも増え、今年も「可能な限りどこへでも」飛んで行って歌いたいと思います。

活動は次の三本柱です。①コンクール②県や地区の合唱祭など③地域での合唱披露

お客様に幸せな時間を提供できる合唱団に成長したいと思っています。よろしくお願いします。

伊藤 伸 いたう しん

横手市出身。桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。

2009年、第78回日本音楽コンクール第1位。併せて、野村賞・三宅賞・井口賞・河合賞・岩谷賞(聴衆賞)を受賞。その他、数多くのコンクールで受賞する。バロックから現代までの幅広いレパートリーを持ち、特にフランス近代の作品に傾倒。また、編曲、多様な楽器とのアンサンブルなど、活動を幅広く手がけている。静を感じる繊細な音楽と、音そのものの持つ美しさには定評がある。

仲野谷 友希 なかのや ゆき

仙北市角館町出身。4歳よりピアノを始める。池田靖子、上原興隆、田村安佐子の各氏に師事。2010年、2011年に続き3度目の奇跡のピアノコンサート出演。現在、フェリス女学院大学在学中。神奈川県在住。

齋藤 吉郎 さいとう きちろう(構絃工)**「鱒」「獅子舞」「あめっこ市のかくまきおぼこ」「水芭蕉」「春風」**

「さいろく工房」齋藤吉郎は、昭和60年代には、伝統200年の大館市内ただ一軒となってしまう構絃工伝統の孤墨を守った。

青年時代、伊藤弥太郎画伯に就いて油絵を学び、その素地が作品に反映して傑作を生み出したといわれた。昭和42年日本伝統工芸展に初入選、以来入選20回、国展会展入選13回。昭和59年第24回伝統工芸新作展「金襴茶入れ」にて秋田県芸術選奨受賞。平成14年厚労省の「現代の名工」に選ばれ、平成16年黄綬褒章を受章。構絃工現代の名工小柳金太郎氏との親交の深く、「いつか二人展を」の願いを果たせぬまま、平成21年ガンのため84才で亡くなる。

